

Ⅱ. 48 回総会議事録

日 時：平成 19 年 6 月 2 日（土）12：50～13：50

場 所：名城大学天白キャンパス全学共通教育棟

出席者：正会員 117 名、委任状提出正会員 691 名

審議事項

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 18 年度事業報告(案)の件 |
| 第 2 号議案 | 平成 18 年度収支決算(案)の件 |
| 第 3 号議案 | 平成 18 年度監査報告(案)の件 |
| 第 4 号議案 | 第 17 期役員選挙報告(案)の件 |
| 第 5 号議案 | 第 17 期学会会長挨拶 |
| 第 6 号議案 | 平成 19 年度事業計画(案)の件 |
| 第 7 号議案 | 平成 19 年度収支予算(案)の件 |
| 第 8 号議案 | 次期大会長(平成 20 年第 49 回大会)の選任の件 |
| 第 9 号議案 | 日本人間工学会会則の一部改訂の件 |

表彰事項

- | | |
|-----|----------------|
| 第 1 | 人間工学会研究奨励賞の授与 |
| 第 2 | 大島正光賞の授与(該当なし) |

司 会： 齊藤副会長司会のもとに、恒例により総会議長に大久保会長を推薦し、会場の総意により議長に指名された。なお、本総会では第 16 期の役員は任期満了で、第 3 号議案の平成 18 年度の実績報告を以ってその任務が了り、第 6 号議案の 19 年度事業計画からは、第 17 期役員体制の所管となる。これにより、大久保議長は審議事項の第 3 号までを主宰し、議案第 4 号からは、新会長の齊藤議長が主宰することとなった。

大会長挨拶： 福田康明第 48 回大会会長から、今回の大会講演の概要について梗概等の挨拶があった。

学会長挨拶： 大久保会長より、定期総会開催挨拶と日本人間工学会 48 回大会会長及びスタッフへの謝辞のあと、3 期 9 年間に及ぶ会長職を通じてのこれまでの活動の軌跡と当面している取組むべき重要課題等についての総括報告と挨拶があった。**(大久保会長の挨拶要旨は冒頭参照)**

定足数報告： 第 48 回定期総会の定足数(人間工学会運営規則第 22 条:正会員の 1/5 以上～委任状含む)は、361 名となっているが、以下により本日の定足数は規定を充足しており、本総会が成立することを宣言。

会員の現在数(平成 19 年 4 月 1 日現在)は、正会員数 1803 名・出席者数 117 名・委任状提出数 691 名で、都合出席者総数 808 名。

議 題

I. 審議事項

第 1 号議案 平成 18 年度事業報告(案)の件

平成 19 年度総会資料に基き、平成 18 年度の事業活動実績を以下の諸活動組織ごとに報告し、審議のうえ原案通り承認された。

1. 会勢報告(会員の入退会等の会員状況)
2. 担当・委員会活動実績
 - (1) 広報担当、日本学術会議担当
 - (2) 人間工学技術戦略検討会、社団法人日本人間工学会推進委員会、編集委員会、国際協力委員会、ISO/TC159 国内対策委員会、人間工学 JIS 委員会、ユーザビリティ委員会、表彰委員会、安全衛生における人間工学要求事項委員会

なお、「安全衛生における人間工学要求事項委員会」は、平成 13 年度より 2 期に亘る活動を行ってきたが、今期を以てその活動を終了した。また「人間工学 JIS 委員会」は、今期で独自の委員会活動に区切りをつけ、新年度からは「ISO/TC159 国内対策委員会」の中に組み込んだ新体制で活動することとなった。

- (3) 第 17 期役員選挙管理委員会
3. 支部活動実績(7 支部)

北海道、東北、関東、東海、関西、中国・四国、九州
4. 研究部会活動実績(12 部会)

医療安全研究部会、衣服人間工学部会、航空人間工学部会、アーゴデザイン部会、感性情報処理・官能評価部会、看護人間工学部会、海上人間工学研究部会、ジェロンテクノロジー研究部会、口と健康部会、情報社会人間工学研究部会、聴覚コミュニケーション部会、人間融合ロボット分野アカデミックロードマップ研究部会

なお、「ジェロンテクノロジー研究部会」は、部会設立当初の目的が十分達成されたとの評価のうえで、今期で活動を終了することとなった。

また、「医療安全研究部会」及び「衣服人間工学部会」は、今後 5 年間活動を継続することとなった。
5. 認定人間工学専門家部会

第 2 号議案 平成 18 年度収支決算書(案)の件

平成 19 年度総会資料の収支決算書(案)に基づき、収支バランスがとれたこと、収入面では会費値上げの効果・支出面では支出の節減等が図られたこと等を説明し、原案通り承認された。

第3号議案 平成18年度監査報告案の件

齋藤監査から、平成18年度の業務運営とその処理及び収支会計の処理整理に関する監査結果について、適切・正確であることを認めるとの報告があり、齋藤監査及び真壁監査連名の監査意見書が原案通り承認された。

第4号議案 第17期役員選挙報告(案)の件

第17期役員選挙管理委員会の矢頭委員長が都合で欠席され、三林副委員長から選挙管理委員会の活動と選挙結果についての報告があり、第17期 齊藤進会長・青木和夫副会長・およびその他の理事の選出、四宮・間壁監査の選出が承認された。

以上で16期の役員の責務は終了し、第5号議案以下は第17期役員体制のもと議事の進行が進められた。

第5号議案 第17期 学会会長挨拶

齊藤進会長から、第17期会長就任の挨拶と今後の学会運営の取組みべき課題・抱負についての挨拶があった。(齊藤新会長の挨拶要旨は、平成19年度事業計画案の冒頭 —平成19年度総会資料参照—)

第6号議案 平成19年度事業計画(案)の件

総務担当の齋藤真理事が、平成19年度総会資料に基づき、平成19年度における事業計画(案)を下記の活動組織ごとに説明し、審議の結果原案通り承認された。

1. 委員会・担当活動計画

(1) 常設

広報委員会、編集委員会、国際協力委員会、ISO/TC159 国内対策委員会、表彰委員会、日本学会会議担当

(2) 臨時

将来計画委員会(新設)、人間工学技術戦略委員会、支部・部会・大会担当(新設)、法人化担当、

2. 支部活動計画(7支部)

北海道、東北、関東、東海、関西、中国・四国、九州

3. 研究部会活動計画(13部会)

航空人間工学部会、アーゴデザイン部会、感性情報処理・官能評価部会、看護人間工学部会、海上人間工学研究部会、ジェロンテクノロジー研究部会、口と健康部会、情報社会人間工学研究部会、聴覚コミュニケーション部会、医療安全研究部会、衣服人間工学部会、人間融合ロボット分野アカデミックロードマップ研究部会、触覚インタラクション研究部会、

4. 認定人間工学専門家部会

第7号議案 平成19年度収支予算書(案)の件

垣本財務担当理事が、平成19年度総会資料に基づき、平成19年度の収支予算書(案)について説明。審議のうえ原案のとおり承認された。

第8号議案 日本人間工学会第49回(平成20年)大会長の選任の件

第49回大会長には、共立女子大学 間壁治子教授の就任が承認された。

間壁次期大会長から、第49回大会は、平成20年6月14日(土)～15日(日)に東京都千代田区一ツ橋の共立女子大学キャンパスで開催するとの挨拶があった。

第9号議案 日本人間工学会会則の一部改正(案)の件

名誉会員制度については、今回会則第6条の規定を改定し、名誉会員制度の運用の明確化を図ることとし、会則第6条の規定を一部改正するものである。審議の結果承認された。

施行日は平成19年6月2日である。

(一部改正の資料は、平成19年総会資料末尾に添付)

これにより理事会承認事項の「名誉会員推薦細則」も6月2日から施行されることになった。(本細則については、総会資料の末尾に添付)

(以上第1号議案・4号議案・5号議案・6号議案・9号議案は、平成19年度総会資料を参照のこと。)

表彰事項

平成19年度の表彰は、表彰委員会、四宮副委員長が表彰理由を説明した後、以下の論文及びその著者に対して授与された。

第1 日本人間工学会研究奨励賞

平成19年度の受賞者2件であり、各受賞代表者の中沢信明氏及び齋藤誠二氏に対して齋藤会長から賞状及び副賞が授与された。

- 1) 受賞者名は中沢信明・吉原由佳・藤ノ木あゆみ・松井利一・山田 功・伊藤 薫の各氏、
論文名「円柱物体に対する摘みの動作の実験的考察」(人間工学 Vo1. 42、No2)
- 2) 齋藤誠二・村木里志の各氏、
論文名「靴底の磨耗が歩行中の下肢に与える影響」(人間工学 Vo1. 42、No4)

なお、「大島正光賞」については、表彰委員会の審査において該当論文がなく、表彰は見送られた。

以上